

またまたまたまた またまたまたまた  
 泥んこ作業で作ってます！  
 魚沼産コシヒカリ

松之山 新田 はさ掛け天目干し棚田米



信濃川の支流・渋海川を、その源流へとたどって行きます。大河のみなもとの一滴まで、あともう少し。棚田だらけのここ、松之山。里山の気候風土と共に暮らす人々が、生業・なりわいのなかでつくりあげてきた棚田は、たくさんの大地の恵みと人々の知恵が、あふれていました。自然の恵みに寄り添い、厳しさを静かに受け入れながら、米を作り続けてきた棚田。

その景観とひとびとの英知は、少しずつ、しかし確実に、その姿を変えつつあります。



4月 江戸の頃に掘ったという山の上の水路を浚う



6月 あぜを走るのこどもたちの特権



8月 みんなで作った案山子たち 笑ってる顔が多かったね



9月 倒れた稲を束ねる周囲の田んぼ、倒れたままのところが多い



10月 集落の畦塗り名人たちの造形美。高さ20センチくらいにするのは、冬の雪で押される分を考えてのことなんだそう。

全ての作業が人の手によるこの「新田の棚田」。持ち主の幸二郎さんが腰を痛み、田んぼ作業が出来なくなったのは5年前のことでした。この美しい棚田を、無謀にもシロウトが集まり米作りを続けていくには・・・回りの方々の手も足も口もお借りし続けていかなければなりません。

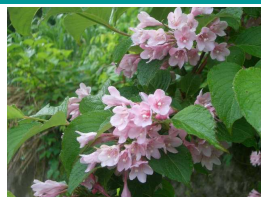
「冬の雪が少ない年は、夏の気候も安定しない。」地元の農家の方が言われたとおり、今年は雨の多い夏になりました。収穫までまだ1ヶ月近く残っているというのに、倒伏した稲たち。鎌で刈ろうと握った稲株は、いつもの年より細身でした。収量は昨年よりも少なくなりましたが、ひとつぶ一粒は、これまでよりもふっくらとした黄金の粒が実りました。今季は、ただ米作りをするだけでなく、集落のなかでこの田んぼを通じてどう関わっていけば良いのかを考えた1年になりました。春には、集落の棚田まで水を運ぶ山の上の水路の江浚い、夏には「全国棚田サミット」の会場のひとつとなったこともあって、集落の皆さんと一緒に案山子作りを。そして、秋にはみんなでサミット来訪者の方々をもてなしながら、畦の補修、畦塗りを、集落の大先輩方から教えていただきました。改めて、「結い」「講」「普請」という言葉の意味を想いました。ひとりではできないことを、みんなで行うこと。 松之山ファイル掲示板 <http://www.doroyuki.info/MatsuFilesBb/>

畦は、ちいさな花たちにとっても、大切な居場所です



ふきのとう

雪の下に長くいる分だけ、花が咲いてもアクが少なく、うまい。花言葉は「待望」「仲間」



たにうつぎ

このあたりでは「田植え花」ともいう。花言葉は「謙虚」



やまゆり

花より根っこ・・・じいちゃん曰く「ゆりね」うまいぞ！ って。花言葉は莊厳、威厳



りんどう

稲刈り終えた秋そっと咲く

湿地が好きで、かつては水田周辺や水辺などで自生しているものが見られたものの、近年は開発などで減少している

花言葉は「あなたの悲しみに寄りそう」「誠実」



ぼくは東京・深川生まれ。  
松代・城山にやってきて、  
ここ新田の棚田にも、  
きたんだよ



集落の皆さんと一緒に、かかしを作りました

田んぼの泥に、たくさんの、手のあと、  
足のあとをつけてきました。  
代掻き・苗しろ作り・あぜ作り・田植え・  
あぜ草刈・田の草取り・かかし作り・はぜ  
作り・稲刈り・はざ架け・脱穀・あぜの補修  
と、すべて手作業でやりました。  
たくさんの人といっしょになって、新田の  
お米作りができたことに感謝して、「いただ  
きます」という言葉を大切にしながら、お米  
を食べたいと思います。

## 平成21年度 魚沼産コシヒカリ

### 松之山・新田 はさ架け天日干し 棚田米 購入申込書

- 低農薬・有機肥料で育て、おてんとうさまの光をたっぷりあびるように、一束ひとたば、はざに架けて天日干し。丹誠こめた本物のコシヒカリ棚田米、1キロ800円。
- 販売は5kg単位・白米でお願いします。  
(玄米をご希望される方は、事務局までお問い合わせ下さい。)
- 販売できる量に、限りがあります。申込み量が多くなった場合は、先着順となりますので、お早めにお申込みください。
- 送料は送り先、重量により異なりますので、お米の品代とは別に請求させていただきます。
- 品代は、払込取扱票に請求額を記し、発送時に同封致します。  
所定の口座にお振込下さい。  
<郵便振替口座名 棚田ネットワーク・松之山新田を愛する会  
口座No. 00520-3-42652>
- お申し込み方法  
下記の事項を明記いただき、事務局までe-mail  
またはFAXにてお申し込み下さい。  
○お申込みされる方  
お名前  
ご住所 〒  
ご連絡先 TEL FAX e-mail
- 購入を希望する量  
5kg入り 袋計 kg 10kg入り 袋計 kg
- 品物の受取方法(いずれかに○をお付け下さい。)  
・ 現地(グリーンハウス里美)で受取る。  
・ 上記、お申し込みされる方の住所へ送付する。  
・ お申込みされる方と異なる住所へ送付する。  
※ お申込みされる方と、品物の送付先が異なる場合は、送付先・送付量詳細、  
ならびに請求先(払込取扱票)同封の有無を、別途明記下さい。  
※ 上記情報につきましては、事務局で責任を持って管理します。



さいの神

闇にあかあかと燃える  
豊作でありますように…  
天との恵に感謝すること、  
忘れていませんか?

申し込み先<事務局>

e-mail: [y-iwano@poppy.ocn.ne.jp](mailto:y-iwano@poppy.ocn.ne.jp) 又は [tamakiak@infoibis.ne.jp](mailto:tamakiak@infoibis.ne.jp)

FAX 025-596-3286(グリーンハウス里美)

※ e-mail、FAXをお持ちでない方は、090-6922-0426[岩野]

または090-3045-3225[玉木] までお問い合わせ下さい。

